

事務事業評価シート 平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名		24000	畜産振興事務費(畜産生産組合への支援)	予算科目	会計	款	項	目	担当班	畜産班
施策体系	基本施策	1	農水産業の振興	根拠法令	一般	6	1	4	事業種別	☒ 主な事業
	施策の展開	1	農畜産物の生産振興	旭市補助金交付規則						☐ 国土強靱化地域計画
	施策の展開			戦略事業	8					☐ 新市建設計画
				戦略事業						☐ 定住自立圏構想
										☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	地域畜産業の振興を図るため、「生産組合の事業活動(組合で行う勉強会や先進地視察等)の支援」及び「生産組合が開催する肉の共進会(組合員が飼育した家畜の品評会)」への助成を行う。 ・補助金交付団体:2団体	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
「地域畜産農家の連携強化」、「家畜伝染病に対する防疫強化」、「地域畜産物の生産技術向上」を目的として、生産組合への助成を開始。現在、生産組合の活動の大きな助けとなっている。	事業を実施することで効果は出ているものの、畜産農家戸数は年々減少している。	事業を実施することで、畜産農家から「農家間の連携が強化された」、「組合員個々の防疫意識が向上した」といった声があがっている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)		単位:千円
1.肉用牛生産肥育組合補助金	138	事業活動支援:53千円、共進会助成:85千円
2.干潟種豚組合補助金	0	(平成29年4月 養豚組合と合併)
3.養豚組合補助金	0	(平成29年4月 種豚組合と合併)
4.養豚生産者組織補助金	297	事業活動支援:197千円、共進会助成:100千円
② 特定財源の内訳(30年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

事業費	費目内訳	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
事業費	1.肉用牛生産肥育組合補助金	千円	138	138	138	138	138
	2.干潟種豚組合補助金	千円	125	125	0	0	0
	3.養豚組合補助金	千円	172	172	0	0	0
	4.養豚生産者組織補助金	千円	0	0	297	297	297
	事業費計(A)	千円	435	435	435	435	435
財源	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円					
	5.一般財源	千円	435	435	435	435	435

前年度増減理由	
---------	--

従事職員数	常時 1 人	最大 3 人 × 30 日 = 延べ 90 人
-------	--------	-------------------------

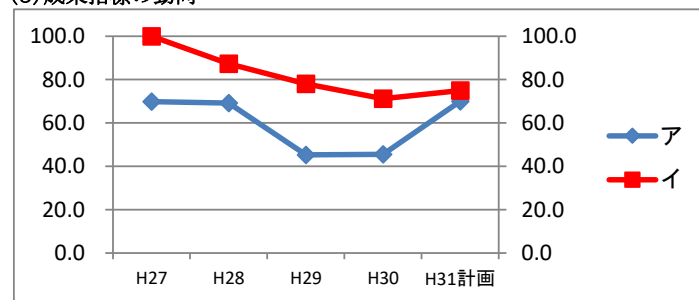
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動) ・補助金の交付 ・適正に補助金が使われているか確認	ア 補助金交付団体数	団体	3	3	2	2	2
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	対象意図 畜産農家 共進会に参加して畜産技術等に関する知識を深める 対象意図	ア 研修会・先進地視察等に参加した畜産農家の割合(参加した畜産農家数/畜産生産組合員数)	%	69.9	69.2	45.3	45.5	70.0
		イ 共進会に参加した畜産農家の割合(参加した畜産農家数/畜産生産組合員数)	%	100.0	87.3	78.1	71.2	75.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果				②コスト削減優先度評価結果				
		成果向上余地			コスト比率			
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3	
施策貢献度	大きい				評価結果	①		
	普通		⑤			②		
	小さい					③		
				④⑤		(4)		
				⑥				
				⑦⑧				
				⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐完了☒順調☐概ね順調☐停滞☐実施困難										
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)											
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標イ		数値増＝成果向上	☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	27年度		28年度	29年度	30年度	31計画	
	例年、養豚では旭市養豚推進協議会主催の共進会と県の共進会の年2回に出品していたが、30年度は豚の疾病の影響で県の共進会が中止になったため、出品生産者が減少した。											
	③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容				今後の方向性					
	随時	組合への助成 ・肉の共進会(品評会)の開催に対する助成 ・組合の事業活動(勉強会、先進地視察等)の支援				拡大 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()				
						通年	例年どおり実施					